

## 1. 秋田県環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備 考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	298,294,539	
	内 訳	うち、国費相当額	149,147,270
		うち、地方負担相当額	149,147,269
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	23,507	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	21,628,509	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	276,689,537	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内 訳	うち、国費相当額	138,344,769
		うち、地方負担相当額	138,344,768
		うち、負担附寄附金等	

## 2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備 考
⑧	基金残高		276,689,537	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		227,024,000	
⑩	保有割合		1.22	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠  
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)  
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

## 3. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等				
1	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	1,750,284	0	1,750,284		1,926,000	14,436,000
2	環境活動推進事業	766,084	0	766,084		8,204,000	57,428,000
3	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	13,512,959	7,413,658	6,099,301		11,339,000	69,473,000
4	自然公園美化対策事業	1,331,000	0	1,331,000		1,363,000	9,541,000
5	白神山地利活用推進事業	6,406,322	491,622	5,914,700		4,076,000	28,532,000
6	生物多様性保全強化事業	0	0	0		1,052,000	7,364,000
7	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	2,605,551	0	2,605,551		2,400,000	16,800,000
8	リサイクル製品普及啓発事業	537,900	0	537,900		600,000	4,200,000
9	環境あきたエコ活動促進事業	2,623,689	0	2,623,689		2,750,000	19,250,000
10		0					
11		0					
12		0					
13		0					
14		0					
15		0					
合 計		29,533,789	7,905,280	21,628,509		33,710,000	227,024,000

## 4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	環境保全に関する調査における県民の「環境保全活動への参加率」について、2027年度までに80%を達成する。	
	成果実績	70.9%
	目 標 値	80.0%
	達 成 度	88.6%

## 令和2年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖沼水質保全計画推進事業（八郎湖環境学習推進）	開始年度	平成26年度
担当部署	環境管理課八郎湖環境対策室	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p><b>【目的】</b> 八郎湖の環境や水質保全の意識や重要性について流域住民の理解を深め、協働活動等の参加を促進するため、環境学習の機会を広く継続的に提供する。</p> <p><b>【目標】</b> 湖沼水質保全計画における八郎湖（湖心）のCOD目標値を指標とする。 ※2017年度現在の目標値 ＝第2期湖沼水質保全計画（最終2018年度（平成30年度））の目標値 八郎湖（湖心）のCOD 7.3 ※2019年度～2027年度の目標値は、2019年度に策定する第3期湖沼水質保全計画で策定する。</p>
--

## 2. 概要

<p>八郎湖の環境や水質について学習し、八郎湖周辺の自然に接する機会を増やすことで八郎湖への理解や関心を深める。また、その機会を継続して提供することで、地域全体の環境保全意識を高めて定着させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八郎湖に関する出前授業や環境学習交流会などを開催する。</li> <li>・八郎湖流域の学校等に環境副読本を配付する。</li> <li>・水生生物調査を実施する。</li> <li>・環境学習や環境保全活動に取り組む数団体の知見を結集し、協働で「八郎湖ワークショップ」を開催することにより、水質改善に向けた気運を高める。</li> </ul>
--

## 3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・八郎湖に係る湖沼水質保全計画</li> </ul>
---

## 4. 実施内容等

<p>①八郎湖環境学習推進事業 主に八郎湖流域の小学生を対象とした出前授業や環境学習交流会を民間団体へ委託して実施した。計38回（延べ参加人数945人）の出前授業を実施し、9月12日に行われた環境学習交流会には計6人が参加した。</p> <p>②環境学習副読本の作成配布 小学校5年生を対象とした環境副読本（A4、カラー、8ページ）を1,300部作成し、八郎湖流域の全小学校の5年生全員及び関係機関に配布した。</p> <p>③水生生物調査 八郎湖流域の小学校が水生生物調査等を実施するために必要な物品を購入した。調査には八郎湖流域の小学校3校（延べ参加人数58人）が参加した。</p> <p>④親子体験型イベント（八郎湖ワークショップ） 八郎湖をフィールドとして活動している団体との共催による親子体験型イベントを開催。漁船乗船体験等により八郎湖の水質改善等を考える契機とした。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため内容変更） 開催日：令和2年10月24日、開催場所：八郎湖周辺、対象：小学校4～6年生とその保護者 参加者6組13名。</p>
--

## 令和2年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖沼水質保全計画推進事業（八郎湖環境学習推進）	開始年度	平成26年度
担当部署	環境管理課八郎湖環境対策室	終了年度	令和9年度

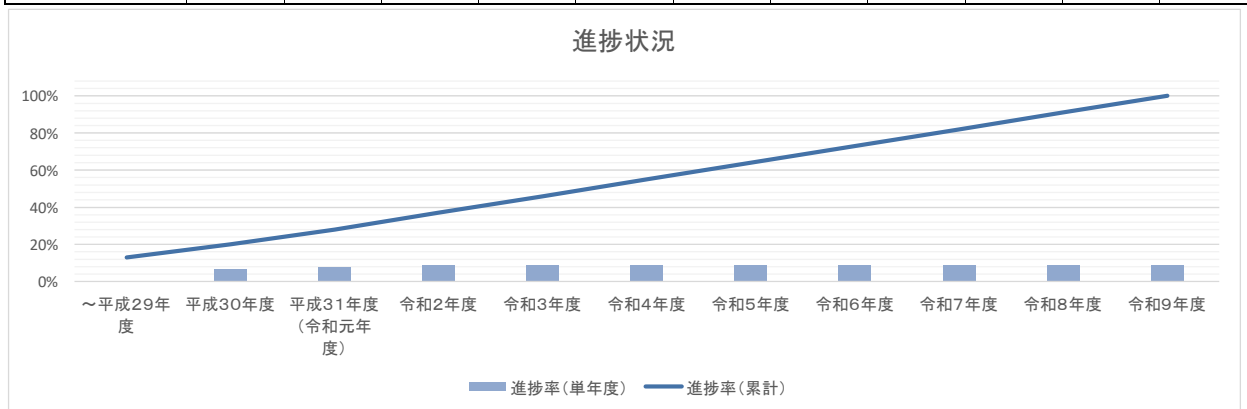
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
講師謝礼	40,000		40,000	講師謝礼
印刷製本費	144,934		144,934	副読本作成等
借料	1,650		1,650	会場使用料
委託費	1,563,700		1,563,700	環境学習出前授業・交流会委託一式
負担金	0			
合計	1,750,284	0	1,750,284	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		1,546	1,675	1,750	1,926	2,085	2,085	2,085	2,085	2,085	2,085
事業費(累計)	4,623	6,169	7,844	9,594	11,520	13,605	15,690	17,775	19,860	21,945	24,030

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	8%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%
進捗率(累計)	13%	20%	28%	37%	46%	55%	64%	73%	82%	91%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育等推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

地球温暖化などの環境問題解決のため、環境保全活動に携わる人材を育成していく必要がある。そのために、環境学習の機会や取組を実践する意識醸成のための啓発が重要なため、環境保全の大切さや取組内容等について啓発することで、県民の環境保全意識を醸成し、自主的な環境保全に関する取組を促進する。

## 【目標】

秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO<sub>2</sub>削減する。

※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26%（2,638千トン-CO<sub>2</sub>）削減することを目標としている。

## 2. 概要

・学校や子どもエコクラブに対し、環境教育に関する教材や環境活動物資を支援することで、環境保全意識を醸成し、自主的な取組を促進する。

・環境大賞として環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を表彰し、その活動事例を広く県民に紹介することにより、県民の環境保全に関する自主的な取組を促進する。

## 3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
- ・秋田県環境基本条例
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県環境基本計画
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境教育等に関する行動計画

## 4. 実施内容等

## ①学校・子どもエコクラブへの環境教育支援

県内各小中学校に応募を募り、秋田大学教育文化学部附属中学校、秋田県立秋田南高校中等部、秋田市立飯島中学校、由利本荘市立西目中学校、湯沢市立湯沢南中学校、にかほ市立平沢小学校、仙北市立神代小学校、大仙市立横堀小学校、横手市立醍醐小学校、横手市立浅舞小学校の10校を環境教育支援校に指定した。また、各校から要望のあった環境教育・環境学習に係る物品を提供し、環境学習の支援を行った。

子どもエコクラブへの環境教育支援としては、令和2年度に登録されている子どもエコクラブからの活動報告をとりまとめ、子どもエコクラブ活動報告集2020を1000部作成し、子どもエコクラブ、小・中学校、幼稚園等へ送付した。

## ②環境大賞の表彰

個人又は団体が秋田県内で実践している環境保全活動の事例を募集したところ、3部門に17件の応募があり、選考委員会で5者（1個人、1学校、3団体）を環境大賞受賞者に選定した。

9月に秋田県庁正庁において表彰式を行い、賞状並びに副賞（楯）を授与し、広く県民に紹介するなど、県民の自主的な取組の促進を図ることができた。

## ・応募部門内訳

個人部門3件、学校教育関係部門2件、団体部門12件

## ・令和2年度環境大賞受賞者

個人部門：佐藤 英明（秋田市）

「環境教育の推進」

学校教育関係部門：秋田県立秋田北鷹高等学校緑地環境科（北秋田市）

「地域の森林整備ボランティア事業」

団体部門：東北電力株式会社能代火力発電所（能代市）

「地域によりそった環境活動の継続展開」

団体部門：秋田県土地改良事業団体連合会（秋田市）

「日本一綺麗な水で作るお米のための環境活動・環境教育の実践」

団体部門：マイ・フラワーロード推進会（大仙・横手・湯沢地区）

「花で飾ろう！みんなの街」

令和2年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育等推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

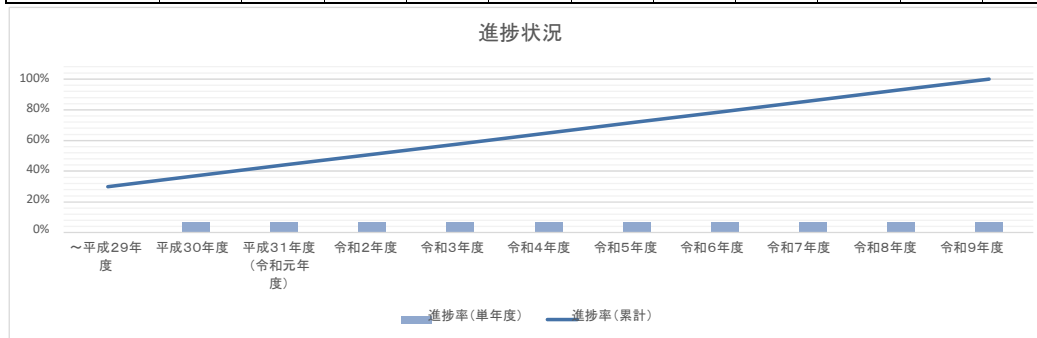
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	165,000	80,000	85,000	
職員旅費	0	0	0	
その他旅費	30,377	14,652	15,725	
印刷製本費	355,960	291,060	64,900	
消耗品費	578,704	6,940	571,764	
通信運搬費	12,980	0	12,980	
筆耕料	15,715	0	15,715	
合計	1,158,736	392,652	766,084	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		990	1,208	1,159	1,849	1,849	1,849	1,849	1,849	1,849	1,849
事業費 (累計)	854	1,844	3,052	4,211	6,060	7,909	9,758	11,607	13,456	15,305	17,154

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



令和2年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	秋田県地球温暖化対策推進計画推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】  
環境問題に関心、意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加運動の体制を構築する。

【目標】  
秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。  
※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26%（2,638千トン-CO2）削減することを目標としている。

2. 概要

第2次秋田県地球温暖化対策推進計画に定める施策を着実に推進する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第2次秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

第2次秋田県地球温暖化対策推進計画の周知啓発のため、パンフレット4,000部を作成し、会議等で配布を行った。

## 令和2年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	秋田県地球温暖化対策推進計画推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

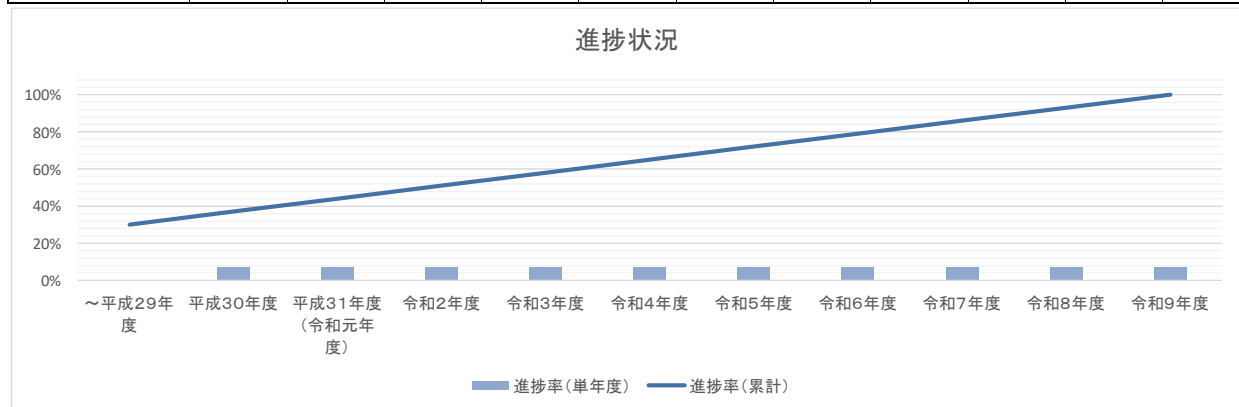
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	39,600	0	39,600	
借料	0	0	0	
委託費	0	0	0	
負担金	0	0	0	
合計	39,600	0	39,600	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		381	1,130	40	150	150	150	150	150	150	150
事業費(累計)	901	1,282	2,412	2,452	2,602	2,752	2,902	3,052	3,202	3,352	3,502

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

秋田県地球温暖化防止活動推進センターの活動を支援し、地球温暖化対策において重要な取組である「環境教育・普及啓発」を効果的に推進する。

## 【目標】

秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。

※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26%（2,638千トン-CO2）削減することを目標としている。

## 2. 概要

地球温暖化対策推進法に基づく秋田県地球温暖化防止活動推進センター（地域センター）の機能を強化し、活動の担い手となる人材の育成とともに、地域主体の自主的な取組等を一体的に推進する。

## 3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第2次秋田県環境基本計画

## 4. 実施内容等

## ○環境教育・地球温暖化防止活動の拠点の運営【基金対象外】

## ○温暖化対策人材育成

- ・新規推進員等を対象とした基礎研修会の開催（4回）
- ・推進員の活動を補完するための視察研修の開催（2回）
- ・推進員等のスキルアップを図るエキスパート研修の開催（3回）

## ○環境あきた県民塾

地球温暖化やごみ問題など、環境をテーマにした講座を開催。（湯沢市、全9回）

- ・受講生29名、うち修了生26名、エコマイスター登録者数20名

地域の環境保全活動のリーダーとして県から登録を受けている「あきたエコマイスター」の活動等について周知し、県民の環境保全活動意欲を増進。

規格：A3二つ折りリーフレット（紙）、カラー

発行回数：年2回

発行部数：各2,000部（計4,000部）

配布先：市町村、学校関係等

## ○地域の環境活動支援事業

市町村、学校及び住民団体等が主催する環境保全に関する講演会、学習会等へ講師等を派遣。

- ・派遣回数：40回



令和2年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

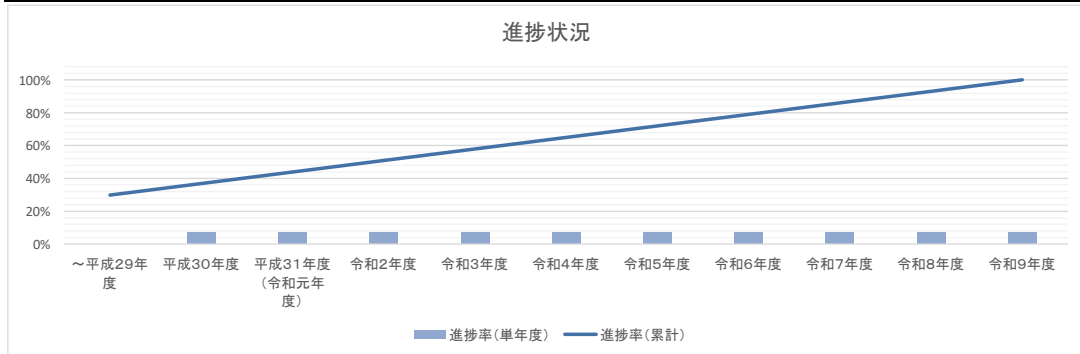
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	12,995,374	7,401,374	5,594,000	
負担金	0			
合計	12,995,374	7,401,374	5,594,000	(単位:円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		0	13,025	12,996	13,004	13,004	13,004	13,004	13,004	13,004	13,004
事業費(累計)	0	0	13,025	26,021	39,025	52,029	65,033	78,037	91,041	104,045	117,049

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	エコマイスター協議会支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 環境問題に関心、意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加運動の体制を構築する。</p> <p>【目標】 秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。 ※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26%（2,638千トン-CO2）削減することを目標としている。</p>
--

## 2. 概要

<p>地域の環境保全活動のリーダーとして県から登録を受けている「あきたエコマイスター」からなる協議会に対し、一般県民向けの環境学習会や施設見学会等の開催を委託することにより、県民の環境保全意識の醸成を図る。</p>
---

## 3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"><li>・地球温暖化対策の推進に関する法律</li><li>・気候変動適応法</li><li>・秋田県地球温暖化対策推進条例</li><li>・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画</li><li>・秋田県環境基本条例</li><li>・第2次秋田県環境基本計画</li></ul>
--

## 4. 実施内容等

<p>(1) 県北・県央・県南のあきたエコマイスター協議会に対し、各地域の一般県民向けの環境学習会や施設見学会等の開催について委託。 9事業を実施し、延べ200名が参加した。</p> <p>(2) 3協議会による協議会代表者会議を開催し、他地域との情報交換や課題の協議を行った。</p>
---

令和2年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	エコマイスター協議会支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

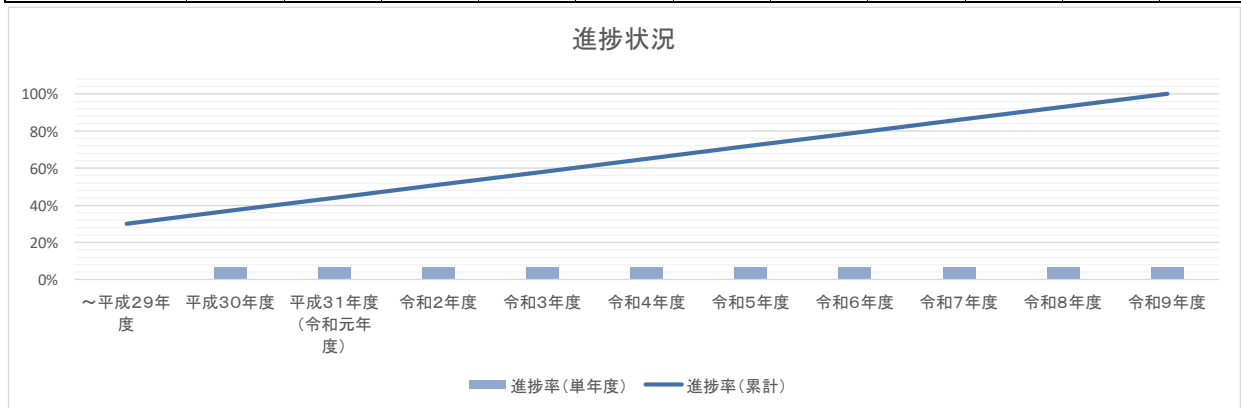
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	21,581	0	21,581	協議会代表者会議旅費 6人
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	423,935	0	423,935	エコマイスター3協議会活動委託 県北：43,140円 県央：258,580円 県南：122,215円 計423,675
負担金	0			
合計	445,516	0	445,516	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		769	750	446	811	811	811	811	811	811	811
事業費(累計)	0	769	1,519	1,965	2,776	3,587	4,398	5,209	6,020	6,831	7,642

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	協働による環境活動促進モデル事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 環境問題に関心、意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加運動の体制を構築する。</p> <p>【目標】 秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。 ※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26%（2,638千トン-CO2）削減することを目標としている。</p>
--

## 2. 概要

<p>地域コミュニティの環境保全活動に関する取組を促進するため、市町村等と協働により、地域住民主権の環境学習会等の開催について支援し、学習したこと等に基づき、地域における環境保全活動を実践してもらう。取組内容等について、県内のモデル例として、パンフレットの作成・配布等により、他の地域への横展開を図る。</p>
---

## 3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策の推進に関する法律</li> <li>・気候変動適応法</li> <li>・秋田県地球温暖化対策推進条例</li> <li>・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画</li> <li>・秋田県環境基本条例</li> <li>・第2次秋田県環境基本計画</li> </ul>
---

## 4. 実施内容等

<p>○対象地域（2地域）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆井川町 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大麦地区（学習会①：8/30 新型コロナウイルス対策で中止。資料配付に変更）</li> </ul> </li> <li>◆三種町 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大町地区（学習会①：9/28【参加17名】、学習会②：10/17【参加18名】）</li> </ul> </li> </ul> <p>○全体セミナーは新型コロナウイルス対策で中止 セミナーで配布する予定だったパンフレットに代えて、モデル地域の取組を県公式ウェブサイトに掲載。</p>
--

## 令和2年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	協働による環境活動促進モデル事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

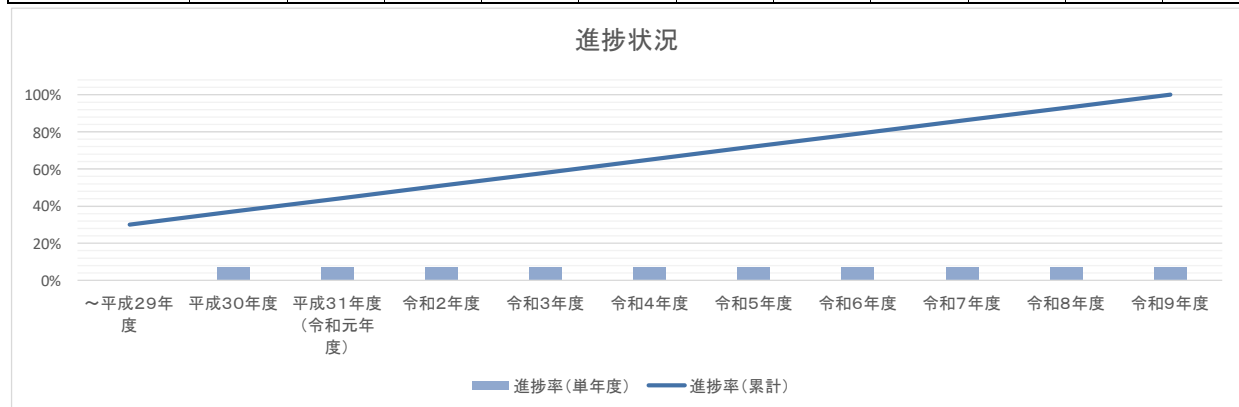
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	20,000	0	20,000	
講師旅費	12,469	12,284	185	
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	0			
負担金	0			
合計	32,469	12,284	20,185	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		0	617	33	0	0	0	0	0	0	0
事業費(累計)	0	0	617	650	650	650	650	650	650	650	650

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

優れた風致景観を有する自然公園内において放置ゴミ等を回収・処理する美化清掃活動と不法投棄防止の啓発活動を支援することによって、国立公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。  
2027年までに回収される回収されるゴミの量を3t以下にする。

## 2. 概要

地元に清掃活動団体を育成し、その活動に対して補助金を交付し支援することで、国立公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。  
また、不法投棄防止の啓蒙活動をすることで、ゴミの排出抑制につなげる。

## 3. 根拠法令等

自然公園法第19条、秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

## 4. 事業内容等

- 国立公園の美化清掃活動を推進し、自然環境の清潔を保持するために清掃活動事業を行う清掃団体へ補助金を交付した。
- 十和田八幡平国立公園において、2団体が1.5トンのゴミを回収した。  
内 訳：一般社団法人十和田湖国立公園協会（十和田八幡平国立公園十和田地区）0.3トン  
八幡平を美しくする会南八幡平支部（十和田八幡平国立公園秋田駒ヶ岳地区）1.2トン  
時 期：令和2年4月～令和3年3月

令和2年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

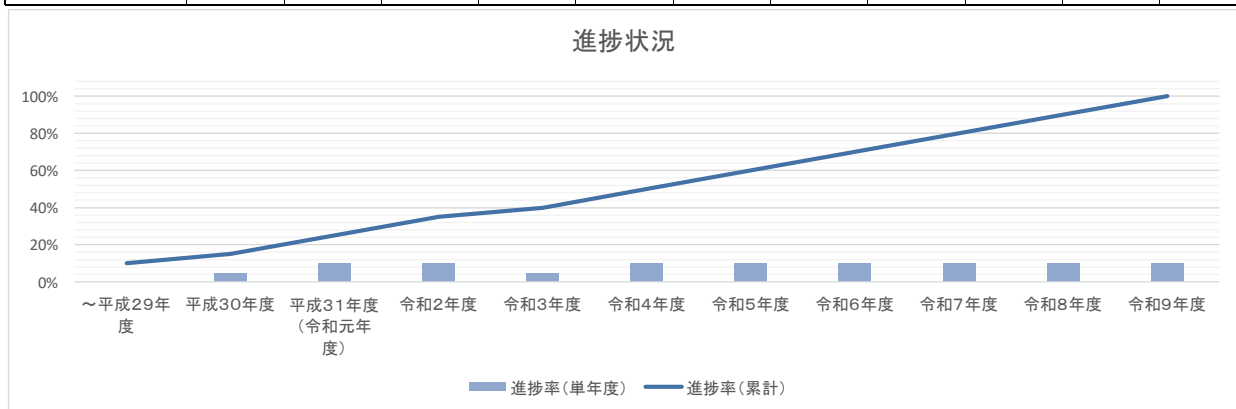
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金及び負担金	179,000		179,000	一般社団法人和田湖国立公園協会
	179,000		179,000	八幡平を美しくする会 南八幡平支部
	0			
	0			
	0			
	0			
合計	358,000	0	358,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		250	340	358	366	400	400	400	400	400	400
事業費 (累計)	1,623	1,873	2,213	2,571	2,937	3,337	3,737	4,137	4,537	4,937	5,337

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		5%	10%	10%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)	10%	15%	25%	35%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定公園・県立自然公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

【目的】  
優れた風致景観を有する自然公園内における放置ゴミ等を回収・処理する美化清掃活動や不法投棄防止の啓発活動を支援することによって、国定公園及び県立自然公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。

【目標】  
2027年までに回収されるゴミの量を60t以下にする。

## 2. 概要

自然公園が位置する地域ごとに清掃活動団体を育成し、その活動に要する経費の一部を負担する市町村に対し補助金を交付することで、自然公園の美化清掃を推進する。  
また、不法投棄防止の啓蒙活動をすることで、ゴミの排出抑制につなげる。

## 3. 根拠法令等

自然公園法第19条、秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

## 4. 事業内容等

○国定公園・県立自然公園の美化清掃活動を推進し、自然環境の清潔を保持するために清掃活動事業を行う清掃団体へ、市町村を経由して補助金を交付した。

○県内の国定公園3カ所、県立自然公園4カ所において、7団体が60.1トンのゴミを回収した。

内 訳：にかほ市 鳥海国定公園を美しくする会（鳥海国定公園）10トン  
 湯沢市 湯沢市栗駒国定公園を美しくする会（栗駒国定公園）2トン  
 男鹿市 男鹿を美しくする会（男鹿国定公園）37トン  
 大仙市 真木真昼県立自然公園を美しくする会（真木真昼県立自然公園）2トン  
 北秋田市 県立自然公園森吉山を美しくする会（森吉山県立自然公）0.3トン  
 大館市 田代岳を愛する会（田代岳県立自然公園）1.1トン  
 仙北市 田沢湖を美しくする会（田沢湖抱返り県立自然公園）7.7トン

時 期：令和2年4月～令和3年3月



## 令和2年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定公園・県立自然公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

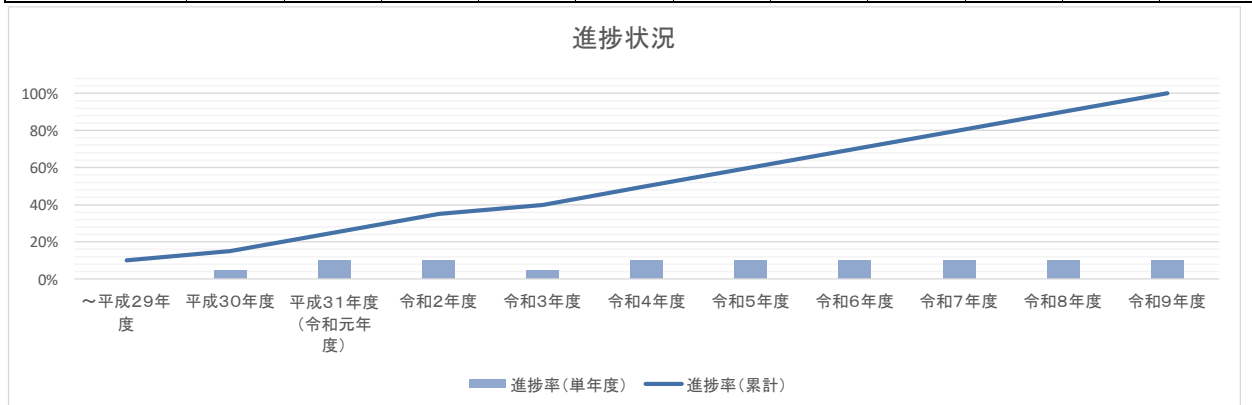
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金及び負担金	76,000		76,000	にかほ市
	108,000		108,000	湯沢市
	344,000		344,000	男鹿市
	158,000		158,000	仙北市
	79,000		79,000	大仙市
	129,000		129,000	北秋田市
	79,000		79,000	大館市
合計	973,000	0	973,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		880	941	973	997	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
事業費 (累計)	3,501	4,381	5,322	6,295	7,292	8,292	9,292	10,292	11,292	12,292	13,292

## 6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		5%	10%	10%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)	10%	15%	25%	35%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

【目的】  
白神山地の価値や素晴らしさを、次代を担う子どもたちに伝えることで、自然に親しみ自然を大切に感じる心を養うための環境教育を実施する。また、その結果として白神山地世界遺産を将来にわたって保全していくための人材を育成することをめざす。

【目標】  
白神山地をフィールドにした自然体験教室を平成39年度まで継続させ、定員に対する参加率80%以上を継続させる。

## 2. 概要

白神山地の価値や素晴らしさを、次代を担う子どもたちに伝えることで、自然に親しみ自然を大切に感じる心を養うための環境教育を実施する。また、その結果として白神山地世界遺産を将来にわたって保全していくための人材を育成することをめざす。

## 3. 根拠法令等

・白神山地世界遺産地域管理計画

## 4. 事業内容等

世界遺産白神山地の価値や保全の大切さを次代を担う子どもたちへ伝えるため、白神山地をフィールドにした自然体験教室を、夏季、冬季の2シーズンで開催した。

夏季は川や海での自然観察・体験、冬季はアニマルトラッキングや冬芽観察、ネイチャークラフト等のプログラムを実施した。多様な生き物、森・里・川・海のつながり、人との関わりなど、子どもたちが白神山地の豊かな自然環境からもたらされる恵みに気づき、保全活動に関心を持ってもらえる内容とした。

参加者を募る周知活動については、県央・県南の市町村教育委員会に協力を依頼し、各小学校へ参加者募集チラシ等を配布した。

夏季：日帰り（秋田市発2回、横手市発1回、計3回）

冬季：日帰り（秋田市発2回）

対象：秋田県内の小学4年～6年生（各回定員20名程度）

## 令和2年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

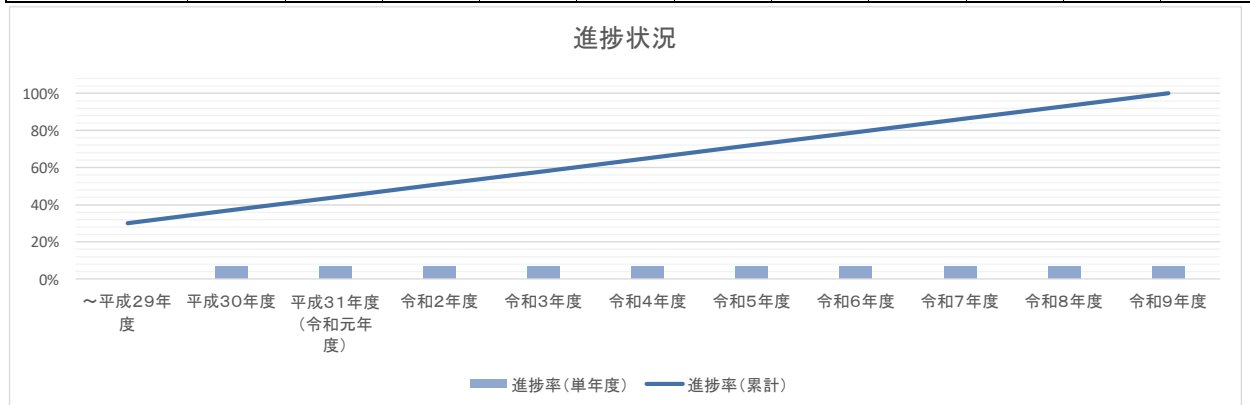
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	0			
旅費	27,454	27,454		
需用費	22,060	22,060		
役務費	10,494	10,494		
委託費	2,854,500		2,854,500	
使用料及び賃借料	19,000	19,000		
合計	2,933,508	79,008	2,854,500	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		2,167	2,383	2,934	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事業費 (累計)	7,009	9,176	11,559	14,493	17,693	20,893	24,093	27,293	30,493	33,693	36,893

## 6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地総合ガイド育成事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

白神山地の価値や素晴らしさを、次代を担う子どもたちや若者に伝えることで、自然に親しみ自然を大切に感じる心を養うための環境教育を実施する。また、その結果として白神山地世界遺産を将来にわたって保全していくための人材を育成することをめざす。

## 【目標】

白神山地をフィールドにした自然体験教室を平成39年度まで継続させ、定員に対する参加率80%以上を継続させる。

## 2. 概要

白神山地の魅力や価値は一見して理解されづらいため、それらを分かりやすく伝えることができる白神ガイドの存在は不可欠である。そこで、世界遺産白神山地におけるガイド及び保全活動に関心のある人を対象に、白神山地に関する知識やガイド技術等を習得してもらうための講習・試験を実施する。

白神ガイドとして認定された者は、地元のガイド団体に所属した上で、白神山地の魅力、価値を発信する活動に取り組んでもらう。白神ガイドの活動によって、世界遺産としての白神山地の価値や魅力が多くの人に伝わり、白神山地の保全意識の気運を高めることに繋げる。

## 3. 根拠法令等

- ・白神山地世界遺産地域管理計画

## 4. 事業内容等

白神山地に関する知識やガイド技術等を学ぶ講習（机上・実技）を計10回、講習内容を習得していることを確認するための修了試験を1回実施した。

机上講習においては、白神山地における歴史文化、法規制等について学び、実技講習においては白神山地をガイドする上で経験しておくべき、幅広いフィールドでのルートガイドなどの内容とした。

試験は、筆記及び面接試験を実施する。筆記試験は、7割以上の正答率で合格とした。面接試験は、ガイドとしてのコミュニケーション能力、協調性等を確認した。

令和2年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地総合ガイド育成事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

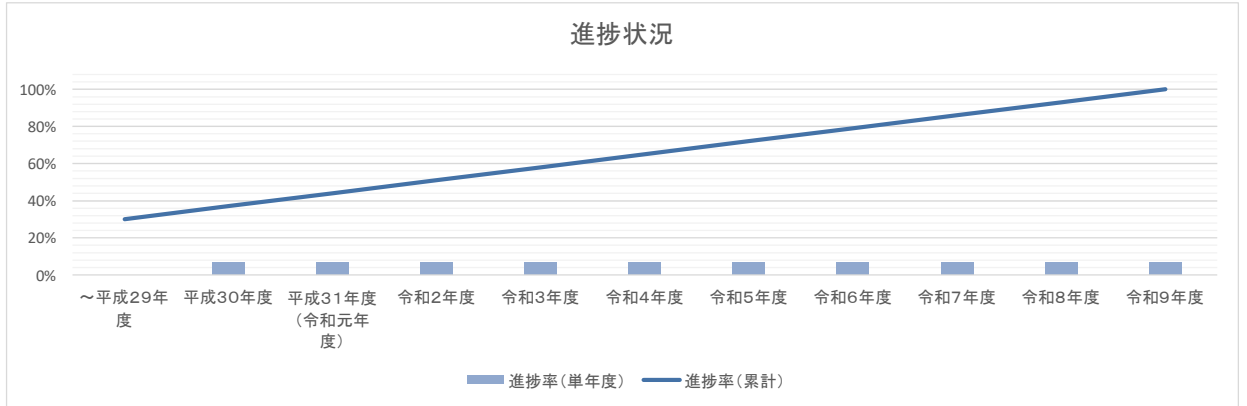
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	112,000	112,000		
旅費	113,315	113,315		
需用費	137,347	137,347		
役務費	10,622	10,622		
委託費	3,060,200		3,060,200	
使用料及び賃借料	39,330	39,330		
合計	3,472,814	412,614	3,060,200	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		4,087	3,461	3,473	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
事業費 (累計)	8,909	12,996	16,457	19,930	23,430	26,930	30,430	33,930	37,430	40,930	44,430

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全強化事業	新規・継続区分	継続
事項名	希少種環境保全普及啓発事業	開始年度	平成29年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p><b>【目的】</b> 日本固有種のゼニタナゴは、外来種の影響などにより生息環境が悪化し、絶滅の危機にひんしていることから、その保全に取り組んでいかなければならない。</p> <p><b>【目標】</b> ゼニタナゴの生息地において、希少種保護のための普及啓発や生息環境悪化の原因とされる外来種駆除などに取り組み、2027年度までに安定した生息数を維持できるよう取り組む。（目標値：1,000尾）</p>
---

## 2. 概要

<p>・ゼニタナゴはかつて、青森県を除き新潟県を含む東北一円や関東地方等に広く分布していたが、1970年以降の生活環境の変化等により急速に減少し、2004年には、本県を含めて4県しか生息確認できていない状況であり、国や県のレッドデータブックでは絶滅危惧ⅠA類に指定されている。</p> <p>・県内のゼニタナゴは、野生では横手市安本地区の農業用ため池のみ生息が確認できる状況であり、絶滅を避けるため早急な保護対策が必要となっている。このため、ゼニタナゴの生息地において、地域住民を対象とした希少種保護の普及啓発、生息数減少の原因とされる外来種駆除等、専門家の意見を踏まえた環境改善を推進していく。</p>
--

## 3. 根拠法令等

<p>・秋田県自然環境保全条例</p>
---------------------

## 4. 事業内容等

<p>・地域住民を主な対象として8月に魚類観察会を開催すると同時に外来種駆除を実施する予定であった。しかし、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、魚類観察会を中止した。</p>
--

## 令和2年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全強化事業	新規・継続区分	継続
事項名	希少種環境保全普及啓発事業	開始年度	平成29年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

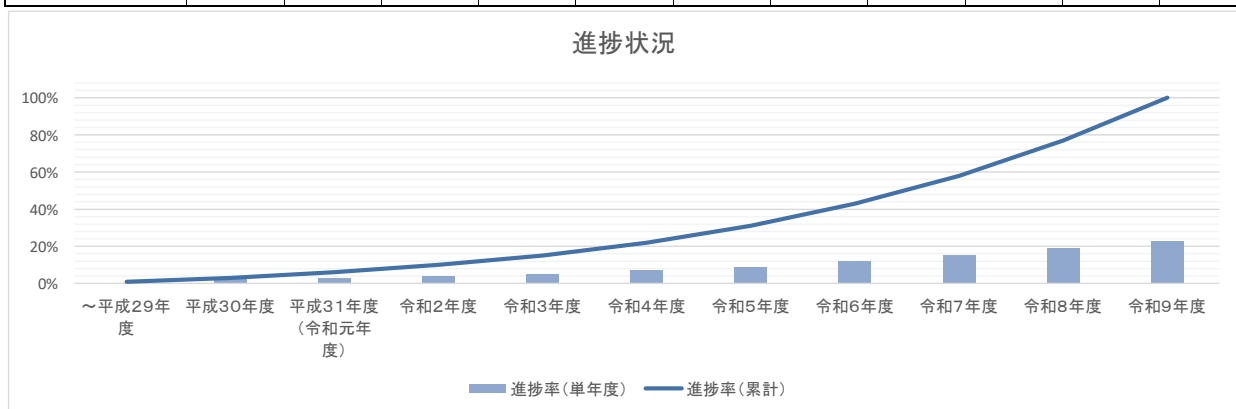
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
講師謝金	0		0	
講師旅費	0		0	
委託費	0		0	
合計	0	0	0	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		220	212	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費(累計)	300	520	732	732	732	732	732	732	732	732	732

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		2%	3%	4%	5%	7%	9%	12%	15%	19%	23%
進捗率(累計)	1%	3%	6%	10%	15%	22%	31%	43%	58%	77%	100%



令和2年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（野生鳥獣対策促進フォーラム）	開始年度	平成31年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

**【目的】**  
 秋田県では、クマによる人身被害、生活地域に出没することによる生活活動の抑制などの心理的影響及びこれに伴う経済的影響並びに農林水産業被害が大きな社会問題となっており、クマの人間活動域周辺への分布拡大による軋轢を軽減する必要がある。  
 また、クマ以外の野生鳥獣においても、分布確認域の拡大や農林水産業被害の増加など、野生鳥獣による影響が拡大傾向にある。  
 クマを始め野生鳥獣の適正な保護・管理を推進していくためには、関係機関や関係団体、地域住民等の理解や協力が必要であり、野生鳥獣対策への関心を高めるとともに理解を深め、被害軽減のための一人ひとりの取組を促進する必要がある。

**【目標】**  
 フォーラム参加者数：900人

2. 概要

野生鳥獣対策の必要性や重要性を広く啓発するため、県民を対象としたフォーラムを開催した  
 開催日：令和2年9月27日（日）  
 場 所：秋田県立総合射撃場  
 参加者：133名  
 実施内容  
 ○狩猟免許取得・支援制度相談コーナー  
 ○農業被害状況パネル展示コーナー  
 ○模擬銃・わな猟具体験ブース

3. 根拠法令等

秋田県第二種特定鳥獣管理計画（第4次ツキノワグマ）  
 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律  
 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律

4. 事業内容等

開催日：令和2年9月27日（日）  
 場 所：秋田県立総合射撃場  
 参加者：133名  
 実施内容  
 ○狩猟免許取得・支援制度相談コーナー  
 狩猟免許取得に関する相談及び狩猟免許取得支援制度に関する説明  
 ○農業被害状況パネル展示コーナー  
 県内の農業被害状況のパネル展示  
 ○模擬銃・わな猟具体験ブース  
 現役狩猟者による模擬銃、わな猟具の解説等



令和2年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（野生鳥獣対策促進フォーラム）	開始年度	平成31年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

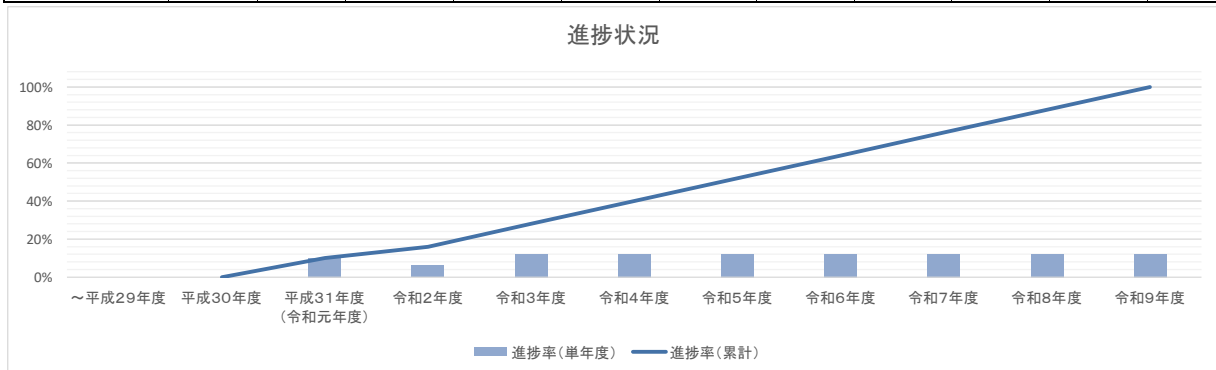
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	¥432,000		¥432,000	野生鳥獣対策促進フォーラムの実施に係る業務（報償費：99千円 チラシ・ポスター作成費：132千円 その他消耗品等201千円）
合計	¥432,000	¥0	¥432,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)			402	432	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
事業費 (累計)		0	402	834	1,834	2,834	3,834	4,834	5,834	6,834	7,834

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			10%	6%	12%	12%	12%	12%	12%	12%	12%
進捗率 (累計)		0%	10%	16%	28%	40%	52%	64%	76%	88%	100%



令和2年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（ツキノワグマ被害防止活動支援事業）	開始年度	平成31年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

**【目的】**  
秋田県では、クマの人的被害、農林水産業被害及び生活環境被害が問題となっており、クマと共生を図るためには、県民を対象に出前講座等でクマの生態と対策について普及啓発をはかる必要がある。

**【目標】**  
目標値：出前講座を毎年15回以上または500人以上に対して実施する。

2. 概要

出前講座「クマの生態と対策」について、わかりやすく、正しい知識の普及啓発のため、クマの足形などのクマキット及び講座用の副読本を作成し、出前講座等を実施した。

3. 根拠法令等

秋田県第二種特定鳥獣管理計画（第4次ツキノワグマ）  
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律  
鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律

4. 事業内容等

○出前講座等  
出前講座やセミナー等で使用する教材「クマの生態と対策について」の読本を全県の小中学生へ配布し、クマの接し方について啓発する。「クマの生態と対策」について、わかりやすく、正しい知識の普及啓発のため、クマの足形などのクマキットと読本等を作成し、出前講座等を実施した。  
出前講座実績  
件数（研修・講座）：43件  
受講者数：延べ2,393人

○クマの注意喚起チラシの配布  
クマ被害への注意を喚起するチラシを配布し、県民へクマ被害防止方法の啓発を行った。  
作成部数：15,000枚  
配付先：各市町村、県有施設、警察署ほか

令和2年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（ツキノログマ被害防止活動支援事業）	開始年度	平成31年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

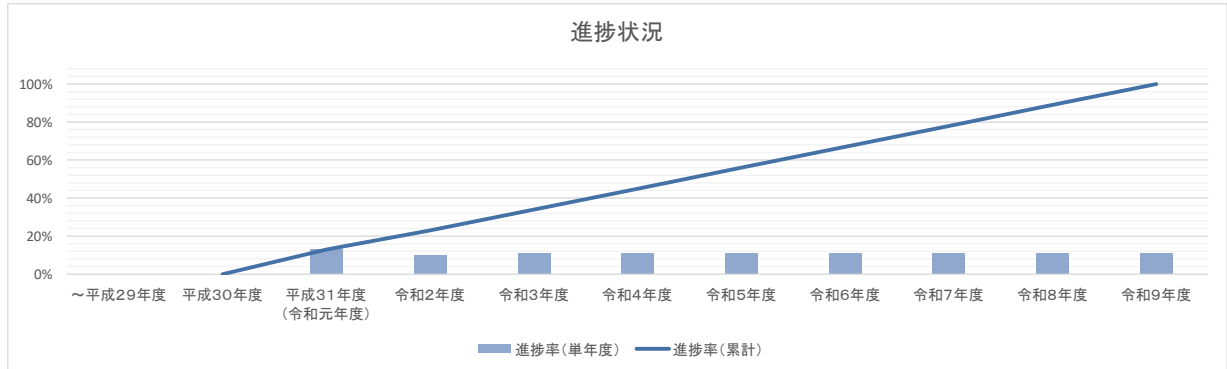
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	¥2,058,001		¥2,058,001	読本作成・配布
需用費	¥115,550		¥115,550	クマキット作成、クマの注意喚起チラシ制作
合計	¥2,173,551	¥0	¥2,173,551	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)			641	2,174	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
事業費 (累計)		0	641	2,815	5,315	7,815	10,315	12,815	15,315	17,815	20,315

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			13%	10%	11%	11%	11%	11%	11%	11%	11%
進捗率 (累計)		0%	13%	23%	34%	45%	56%	67%	78%	89%	100%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	環境産業活性化推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	認定リサイクル製品利用拡大推進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 県民意識調査において、県へ期待する活動の設問に対し、「ごみなどを原料としたリサイクル製品の普及活動」が上位となっており、県民の関心は高いことから、優れたリサイクル製品を県が認定し、その利用拡大を図りながら県民への認知度を高めるため、リサイクル製品に関する普及啓発を行う。</p> <p>【目標】 県認定リサイクル製品の認定数（累積）：432製品</p>
--

## 2. 概要

<p>認定リサイクル製品の新たな利用拡大を図るため、環境学習及び各主環境イベントでのPR活動を推進する。</p>
--

## 3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"><li>・秋田県リサイクル製品の認定及び利用の推進に関する条例</li><li>・秋田県環境基本条例</li><li>・秋田県環境基本計画</li></ul>
---

## 4. 実施内容等

<p>○環境学習及び各種環境イベントでのPR活動 リサイクル認定製品の展示、PR資料展示を環境団体へ委託して県民への普及啓発を図った。</p> <p>委託者：NPO法人環境あきた県民フォーラム 理事長 佐藤 充 実績：秋田県認定リサイクル製品の展示によるPR事業（開催日・開催場所） 令和2年 9月24日（木）～10月 6日（火） 秋田県ゆとり創造センター 遊学舎 令和2年10月 8日（木）～10月21日（水） マックスバリュ天王店 令和2年10月23日（金）～11月 3日（火） 道の駅セリオンプラザ 令和2年11月 5日（木）～11月16日（月） 秋田市にぎわい交流館 AU</p> <p>認定製品PR用チラシの製作及び配布 両面300部</p>
--

## 令和2年度 事業報告書

事業名	環境産業活性化推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	認定リサイクル製品利用拡大推進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

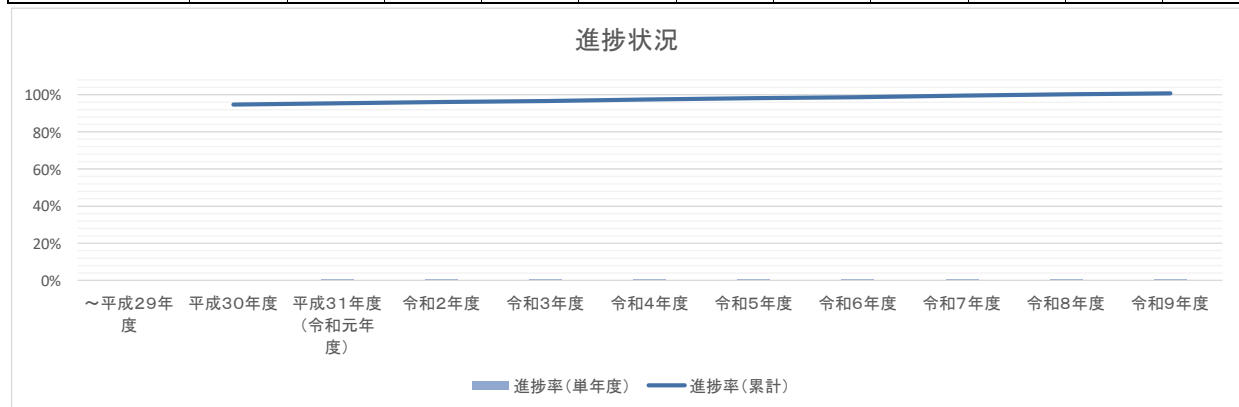
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	537,900		537,900	秋田県認定リサイクル製品展示PR業務委託
負担金	0			
合計	537,900	0	537,900	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)			544	538	600	600	600	600	600	600	600
事業費 (累計)		0	544	1,082	1,682	2,282	2,882	3,482	4,082	4,682	5,282

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%
進捗率 (累計)		94.7%	95.4%	96.1%	96.7%	97.4%	98.1%	98.8%	99.5%	100.1%	100.8%



## 令和2年度 事業報告書

事業名	環境あきたエコ活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境あきたエコ活動促進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

本県の恵まれた環境をより豊かなものとして将来の世代に継承していくため、県民が組織する民間団体が地域住民等に対し自主的に行う環境保全活動を支援することにより、県民が環境保全の意義や重要性を理解するとともに、環境保全活動の自主的行動を促進する。

## 【目標】

補助事業による環境保全活動等への参加者を平成39年度まで延べ3,600人以上にする。

## 2. 概要

秋田県環境基本条例第16条に基づき、民間の団体が地域住民等に対して自主的に行う環境保全活動に要する経費を支援する。

## 3. 根拠法令等

- ・秋田県環境基本条例
- ・第2次秋田県環境基本計画

## 4. 実施内容等

## ○環境あきたエコ活動促進支援事業

県民に対して、民間の団体が自主的に行う環境保全活動に要する経費の助成に係る費用を中間補助事業者に交付し、中間補助事業者の審査を経て、環境保全の普及啓発事業を行う団体に助成を実施した。

事業費内訳	： 予算額（補助金）	2,000,000円	； 実績額	1,873,689円
	： 予算額（事務費）	750,000円	； 実績額	750,000円
	： 予算額（計）	2,750,000円	； 実績額	2,623,689円

NPO等の環境保全団体に対して、次のとおり助成を行い、県民の環境保全の取組み支援及び普及啓発を実施した。

助成団体 8団体 助成額 1,873,689円

取組事例 NPO法人秋田パドラーズ（県民ボランティアを募り、雄物川河口海岸線のクリーンアップ活動を実践）  
NPO法人秋田水生生物研究会（小中学生とともに馬場目川に生息する魚類等の調査を実施しミニ図鑑を作成）  
8団体延べ参加人数616名程度（小中学生及びその保護者、県民など）

## 令和2年度 事業報告書

事業名	環境あきたエコ活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境あきたエコ活動促進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	0			
負担金(補助金)	2,623,689	0	2,623,689	補助金(事務費含む)
合計	2,623,689	0	2,623,689	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)			2,617	2,624	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750
事業費(累計)		0	2,617	5,241	7,991	10,741	13,491	16,241	18,991	21,741	24,491

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)			33.3%	17.1%	9.0%	8.8%	8.4%	8.0%	7.0%	6.0%	2.4%
進捗率(累計)		0.0%	33.3%	50.4%	59.4%	68.2%	76.6%	84.6%	91.6%	97.6%	100.0%

